

1. 2024 年上半期報告

2024 年 7 月現在、パプアニューギニア(PNG)では有償資金協力事業 2 件、技術協力プロジェクト 11 件(うち 2 件は実施準備中)、個別専門家 3 件、海外協力隊 8 名、民間連携事業 2 件、日本での長期研修員 24 名を実施中/派遣中です。その他、文化無償資金協力事業 1 件を実施中、一般無償資金協力事業 2 件を実施準備中です。また、4 月と 6 月には自然災害被災地に対する緊急援助物資供与も行いました。

2024 年上半期の主な事業報告は以下のとおりです。

(1) 自然災害被害に対する緊急援助物資を供与



3 月中旬、PNG 西部において発生した大雨により、地滑りや洪水等の甚大な被害が出たことを受け、日本政府は緊急援助物資供与を決定、JICA がその実施を行いました。供与された物資は、テント、毛布、浄水器、スリーピング・パッド等、4 月 14 日、16 日の二日間に分けてシンガポール倉庫から輸送されました。これら物資は、PNG 政府に引き渡された後、ニュージーランド政府や国際移住機関(IOM)の協力も得つつ、被災した 5 州に届けられました。

https://www.jica.go.jp/information/jdrt/2024/1536017_52764.html

また 5 月 24 日にエンガ州において発生した地滑り被害に対しても、6 月 4 日から 9 日にかけて数回にわたり、緊急援助物資を PNG 政府に供与しました。これらの緊急援助物資はオーストラリア政府の協力を得て現地に輸送され、同じく IOM の協力も得つつ被災者に届けられました。

https://www.jica.go.jp/information/jdrt/2024/1540973_52764.html

(2) JICA チェア開催

日本の近代化と開発経験の歴史を紹介する JICA チェアを今年も 5 月 1 日、パプアニューギニア大学(UPNG)で開催しました。3 回目となる今回も、国際大学の加藤

副学長にお越し頂き、UPNG の他、地方に所在する工科大学、Divine Word 大学ともオンラインで接続し、約 180 名の学生や大学関係者が参加しました。

また、今年も JICA 海外協力隊が活躍するソゲリ小学校も訪問し、近隣の高校や職業訓練校も含めた教員や関係者に、日本の歴史や文化の紹介授業も行いました。



(3) 世界女性の日にあわせたマーチ・イベント開催

世界女性の日に合わせて、3 月 10 日、首都圏庁、コミュニティ開発省、国際赤十字、UN Women、オーストラリア高等弁務官事務所等と共催で、マーチ・イベントを開催し、約 800 名が参加しました。3 回目となる今回は、「Invest in Women」をテーマに、約 5km を行進した後、エラ・ビーチ広場では参加した国連や各国大使等の様々なゲストから、女性の地位向上の重要性についてスピーチを行った他、全員でダンスを楽しみました。



(4) JICA 海外協力隊は現在 8 名に

昨年、コロナ禍後の JICA 海外協力隊の派遣が再開され、5 名の隊員が派遣されましたが、今年も 3 名が新たに派遣され、合計 8 名となりました。新規隊員の自己紹介はこの後のトピックスをご覧ください。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1521082_14098.html

(5) ココポ・ラバウル地域インフラ開発計画策定プロジェクトのナショナル・セミナー開催

東ニューブリテン州のココポ・ラバウル地域開発のため

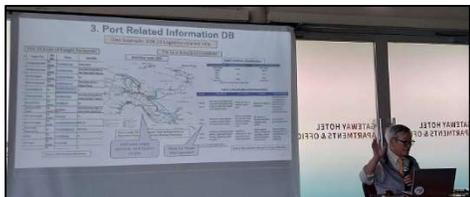


のマスタープラン策定を機に、3月26日、国家計画・モニタリング省(DNPM)、東ニューブリテン州とともに

に、首都ポートモレスビーで成果発表会を開催しました。同発表会には、パラ国家計画大臣や渡邊大使も出席され、同地域における11の優先プロジェクトについて、関係者で理解を深めました。今後、これら優先プロジェクトは、PNG国政府の閣議承認を得る予定です。

(6) 港湾データベースセミナーの開催

運輸省及びPNG港湾公社に対する技術協力において、PNGの港湾データベースを作成中です。



5月22日、セミナーを開催し、同データベース

試作品の発表を行いました。セミナーでは、PNGの海上保安庁、税関、統計局、首相府等参加者に対して、データベースの内容についての説明と意見交換が行われました。このデータベースが完成した後は、PNGの港湾行政の改善に貢献することが期待されています。

(7) 電力セクターでの取り組み

電力セクターでは現在、有償資金協力によるラム送電



網建設事業が進んでおり、完工後にはモロベ州の電力供給が大きく改善することが期待されています。同時に、技術協力においてはPNG電力

公社(PPL)の送電設備計画や維持管理能力強化を図っています。さらには、6月から国家エネルギー庁(NEA)に対するアドバイザー派遣を行っており、PNGのエネルギー政策についての助言を行っています。

PNGでは、大使館の無償資金協力でも同セクターで電線の敷設事業や、ロウナ水力発電所の改修事業を

行っています。さらには、アメリカやオーストラリア、ニュージーランド等の開発パートナーとともに、PNGの電力普及の貢献を行っています。

(8) 廃棄物管理改善に向けた新たな技術協力開始

JICAは2000年より大洋州地域で廃棄物管理事業を行っています。2011年には技術協力プロジェクト「J-PRISM」を開始し、現在はPNGを含む9ヶ国を対象にフェーズ3を行っています。6月には環境庁(CEPA)や首都圏庁(NCDC)に加えて4つの地方都市自治体(レイ、ココポ、アロタウ、ゴロカ)とともに合同調整会議(JCC)を開催し、国内他都市への成果の拡大や、リサイクルの促進といった事業の方向性について確認がされました。

(9) 長期・短期研修員帰国報告会



4月19日、日本で研修を受けた長期研修員2名と、短期研修員2名の発表会を開催しました。長期研修員のうち、マラさん(高等教育省)は鳴門教育大学で教育学の、サイヨミナさん(DNPM)(写真)

は名古屋大学において国際開発学で、それぞれ修士号を取得しました。

(10) PNG・日本経済ミッションが来訪

2月28日、29日の2日間にかけて、太平洋諸島セン



ター(PIC)とPNG投資庁(IPA)共催の「PNG・日本経済ミッション」が来訪しました。同ミッションに

は、日本から13社20名が参加した他、現地から在PNG日本国大使館、JICAからも参加しました。当ミッションでは、「官民合同経済セミナー」(後援:外務省、在京PNG大使館、協力:経済産業省)と「ビジネスフォーラム」(協力:経済産業省)が行われ、日本企業とPNG関係者との貴重な情報・意見交換の場となりました。

(11) 2024年下半期に向けて

PNGにおける日本のODA事業は1974年に始まり、今年で50周年となります。これを記念して、当事務所では現在記念動画を作成中です。また、10月には式典も開催予定です。

2. トピックス: 現地関係者からひとこと

当地で活躍する専門家や、JICA 海外協力隊、事務所スタッフをご紹介します。

【専門家】

教育政策アドバイザー 木田 光二 専門家



国家教育省にて教育政策の実現や教育協力協調の促進、また日本の教育協力に関する新たな価値の創造を目標に活動を行っています。これらの目標を達成していくために「JICA 教育協力の特殊性を意識したコミュニケーション力」と「一つ一つの成果を線や面の成果に繋げていく想像力」が教育政策アドバイザーに求められていると感じています。JICA の教育協力が PNG 国内や大洋州地域に広がっていくことを夢見て、日々、試行錯誤しています。

森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト

岡林 正人 チーフアドバイザー



2022 年 4 月からパプアニューギニア森林公社で勤務しています。プロジェクトでは、国や地域住民にとって、経済や開発面から重要な木材生産が持続的に行われることを目指して、研修やマニュアルづくり等を、多様な関係者と行っています。また、森林では、巨大な樹木、豊かな生物多様性に、いつも驚かされています。私も、この国の豊かな森林を、後世の人々に引き継いでいくことに貢献したいと思っています。

【JICA 海外協力隊】

森 敏幸 隊員

(コミュニティ開発/ミルンベイ州農業畜産局)



2024 年 3 月からアロタウにある、ミルンベイ州農業畜産局(DAL)に配属され、Food Security 部門に所属しています。州内農家の支援が目的の部署であり、DAL または農家が所有する農業機械のメンテナンス方法の指導が主な活動です。現在、新たに機械を導入するため、圃場や作業環境を調査し、最適な機械の選定と購入ルートも検討をしています。

アロタウの町は中心部に商業施設が集中して人も多く、日々人々から話しかけられますが危険はあまり感じず過ごしています。

望月 賢人 隊員

(コミュニティ開発/ミルンベイ州コミュニティ開発局)



2024 年 3 月からミルンベイ州政府コミュニティ開発局に着任しました。当部署では主に市民相談を行っており、現在の私の活動は市民相談管理データベースの構築です。市民相談の内容は家庭内暴力や児童虐待等、根が深く解決に胆力のいるケースが多くありますが、同僚たちは熱意と真心をもって市民一人ひとりに対応しています。その気持ちを少しでも知りたいと思い、6 月に PNG のカウンセラー資格を取得しました。文化や人間が面白い PNG に夢中です。

足達 岳瑠 隊員

(青少年活動/シティミッション青少年支援センター)



2024 年 3 月より NGO 団体シティミッションで青少年活動隊員として活動しております。配属先では 16 歳から 25 歳の青少年を対象に、自律的な生活に必要なスキル習得の機会を創出しており、そのなかで私の主な活動内容としては、基礎的なビジネスの仕組みや考え方を伝えております。

屈強なパプアニューギニア人の逞しさには毎日驚いておりますが、パワフルな仲間とともにより良い活動にできるよう精進してまいります。

【JICA 事務所ナショナル・スタッフ】

ドレア・モヤル職員

(アドミニストレーション・マネージャー)



私は 1992 年に JICA PNG 事務所の秘書として勤務を開始しました。主な仕事として、会計や所員の出張支援、事務所業務を円滑に行うための総務業務を行っています。この国際的な組織での経験は私の人生の大半を占めています。

PNG において、日本人は仕事に対しての強い倫理観や正確さで知られています。私もそうした価値観を大切にして、仕事で生かすことにより、このチームの一員として認められると考えています。そして私は、日本の ODA 事業を行っている、この活力あるチームの一員であることを誇りに思っています。

3. 事業リスト

3-1. 重点分野①： 経済成長基盤の整備

(1) 経済インフラ整備・維持管理プログラム

- (専門家) 開発計画アドバイザー
派遣期間 2024年3月～26年3月
- (有償¹) ナザブ空港整備事業
L/A 調印 2015年10月、借款契約額 269.42 億円
<https://www.jica.go.jp/oda/project/PN-P11/index.html>
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1519597_14561.html
- (技プロ²) 道路整備能力強化プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2021年3月～25年3月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/1900298/index.html>
- (専門家) 電化政策実施促進アドバイザー
実施期間 2024年6月～26年6月
- (有償) ラム系統送電化網強化事業
L/A 調印 2013年8月、借款契約額 83.40 億円
<https://www.jica.go.jp/oda/project/PN-P10/index.html>
- (技プロ) 電力系統計画・運用能力向上プロジェクト
実施期間 2022年3月～25年3月
- (技プロ) 運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2022年3月～25年3月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/201905175/index.html>
- (技プロ) 土地管理情報システム構築・促進プロジェクト
実施準備中
- (技プロ) 公共投資管理プロジェクト・フェーズ 2
実施準備中

(2) 産業振興プログラム

- (技プロ) 資源収入管理能力向上プロジェクト・フェーズ 2
実施機関 2024年3月～2027年2月
https://www.jica.go.jp/information/press/2023/20231018_42.html
- (民連³) 零細漁業者のバリューチェーンへの連結による小型船外機船市場創出の普及・実証・ビジネス化事業
実施期間 2023年11月～26年2月

3-2. 重点分野②： 社会サービスの向上

(3) 教育支援プログラム

- (専門家) 教育政策アドバイザー
派遣期間 2024年2月～26年1月
- (技プロ) 初等数理科教員養成校強化プロジェクト
実施期間 2020年9月～25年4月
<https://www.jica.go.jp/oda/project/1900299/index.html>
- (民連) 初等教育向け算数ワークブックを活用した学力向上にかかるビジネス化実証事業
実施期間 2023年7月～24年10月
https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/1536/Bz22104_5_summary.pdf

(4) 保健医療プログラム

- (技プロ) フィラリア対策プロジェクト・フェーズ 2
実施期間 2023年4月～27年5月
https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/press/2023/1526224_14561.html

3-3. 重点分野③： 環境・気候変動・防災

(5) 環境保全プログラム

- (技プロ) 大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト・フェーズ 3
実施期間 2023年7月～28年6月
https://www.jica.go.jp/activities/issues/env_manage/pamphlet/recycling_society.html
- (技プロ) 森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト
実施期間 2022年4月～25年4月
<https://www.jica.go.jp/Resource/project/png/009/outline/index.html>

3-4. 課題別研修・長期研修

- 課題別研修
2024年度は、64コース、64名の研修員が課題別研修を受講予定です。
- 長期研修
2024年7月現在、日本の大学院において、以下の研修員が主に大学院修士課程を専攻中です。
SDGs グローバルリーダー： 19名
KIZUNA プログラム： 3名
Agri-Net プログラム： 2名
<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/dsp/course/index.html>

3-5. JICA 海外ボランティア

現在、8名の海外ボランティアが活躍中。年内に10名が追加予定で、合計18名となる予定です。

https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1521082_14098.html

3-6. JICA チェア

2024年5月に、PNGで3回目となるJICAチェアを開催。国立パプアニューギニア大学に加え、工科大学(UNITEC)などの大学をオンラインで結び、多くの学生の間で日本研究への関心が高まりました。

<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/dsp-chair/index.html>

3-7. ジェンダー主流化への取り組み

JICA関係者に対して性的ハラスメントの防止セミナーの開催や、PNGで活躍する女性をFBでの広報、PNGUN Womenと共同でのイベント実施等を行っています。また、表紙右上のロゴはジェンダー主流化活動促進に向けて事務所デザインしたものです。

3-8. 緊急援助

JICAは日本政府の決定により、自然災害等の被害に対して緊急援助も行っています。

<https://www.jica.go.jp/activities/schemes/jdr/index.html>

3-9. JICA 研修員同窓会事業

現在、4,000名超が同窓会に所属しており、同窓会ニュースレターの発行等の活動をしています。

JICA パプアニューギニア事務所
2nd Floor, PWC Haus, Harbour City
Port Moresby, NCD, Papua New Guinea
P.O. Box 1660
URL: <https://www.jica.go.jp/overseas/png/index.html>
FB: <https://www.facebook.com/jicpng/>
E-mail: pn_oso_rep@jica.go.jp

¹ 有償: 有償資金協力

² 技プロ: 技術協力プロジェクト

³ 民連: 民間連携事業